

教養教育重視の総合大学として さらなる高みへ

教養教育センター 時代に求められる能力の養成

詳しくはこちら



東北学院大学では、2023年度より、教養教育の新たなカリキュラムが始まっています。本学は1886年の仙台神学校の開設以来、「福音主義キリスト教に基づく個人の尊厳の重視と人格の完成」という建学の精神のもとで教養教育を重視してきました。この伝統に立脚し、情報化、国際化する社会の中で求められる能力を養成するため、文系・理系、学部・学科を問わず、すべての東北学院大学生に開かれた新たな全学共通の科目を開講しています。



教養教育を根幹に、
専門教育への学びの枝葉を広げる

東北学院大学の教養教育では、「TGベーシック」を含む「教養教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」などを通じて、社会生活に欠かせない「基礎的・汎用的能力」を修得します。その上で、それぞれの専門的学問に対し、より深く多角的で高度なアプローチを実現します。

教養教育センター



「TGベーシック」の進化

本学の特色である「TGベーシック」は、教養教育の基盤です。2013年度から「TGベーシック」科目群を導入し、教養型私立総合大学としての礎を強固なものとしてきました。全学部の学生が本学で学んだ「証」として身につけておくべき幅広い知識と技能であり、本学卒業生に対する社会からの高い評価にもつながっています。

その「TGベーシック」を、激変する社会により一層求められる「学士力」や「社会人基礎力」の獲得に向けて、2023年度に一部改訂しました。「学士力」はコミュニケーションスキルや論理的思考力、情報リテラシー、問題解決能力などを指し、「社会人基礎力」は主体性や実行力、課題発見力、発信力、柔軟性を指します。社会が複雑化・高度化する中で、在学中にこれらの能力の土台を育む必要性が高まっています。

例えば、「人間的基礎」科目群の『よき社会生活のためにA・B・C』では、より良い社会生活、健やかな学生生活を送るために必要な知識を身につけます。「知的基礎」科目群の『情報リテラシー』は全学必修とし、社会に出てから必要とされるAI・データサイエンスの基礎的な知識と技能を修得します。また、「課題探究」科目群の『課題探究演習』ではそれぞれの授業で取り扱う課題ごとに学生自らがテーマ設定し、調査を行い、発表・ディベートを行うことなどで、課題発見能力と問題解決能力が培われます。

教養教育センターの教員はこちら



PICK UP! カリキュラム

課題探究演習

本科目は各分野の教員が提供する多彩なテーマを、学部学科に関係なく経験・体験できることが特徴です。複数学科混成の少人数グループでの相談・実習・プレゼンなどを通して分野背景の異なる意見交換もできる、総合大学ならではの科目です。自分の学科にとられない学びで興味関心やその後の可能性を広げてみてください。

独創性と工夫を凝らし
ものづくりの精神を学ぶ

文学部 英文学科
2年 中嶋 悠乃 さん
(山形県/山形中央高等学校出身)

ものづくりが好きで受講しました。3Dプリンタを使って、グループで協力しながら自由に制作する授業です。求められるのは「オリジナリティと工夫」。初対面で学科も異なる3人のグループでしたが、話す共通の趣味がわかり、議論しながらアイデアを練りました。先生から「工夫が足りない」と指摘され、何度も考え直しました。最終的に完成した作品はキャラクター型のペン立てで、ペンを入れるとキャラクターの電子音声が鳴るといったもの。「電子音声を鳴らす」アイデアと、その仕掛けを思いついたときは「やった!」とうれしかったです。提出期限ギリギリに、みんなで必死に作業した集中力は過去一番だったかも。英文学科所属でも3Dプリンタを体験でき、他学科生と協力してのものづくりに取り組めたのは、総合大学ならではの醍醐味です。



言語論

言語を操る能力はほぼ人間のみが有する特性であり、人間と他の動物を隔てる最も重要な特徴の一つと言われています。我々が普段にげなく話している「ことば」はどのような仕組みを持っていて、どこから来たのでしょうか。言語を対象とした学問が古代ギリシア時代にまでさかのぼる歴史を持ち、現在もさまざまな分野にわかれた多様性を示すことを確認したうえで、言語を対象とした科学研究がどのようなものか、その概要をとらえていきます。

ヒトにとって言語とは?
その獲得の原理に迫る

経済学部 経済学科
2年 鈴木 花梨 さん
(宮城県/仙台第三高等学校出身)

ヒトという生物に固有な「言語」について学びます。地球上には約7千種類の言語が存在しそれぞれ音や構造が異なること、多様でありながら普遍性も持ち合わせていることなど、言語を客観的に科学的に解き明かす講義はおもしろく、ぐいぐいと引き込まれます。なかでも、人間は生まれながらに言語を獲得する機能を有し、異なる種類の言語でもそのプロセスには共通の原理があるという内容はとても興味深かったです。毎日当たり前で操るものだからこそ、一面的な見方しかしてこなかったことに気づかされました。多角的な思考のヒントを与えてもらい、クリティカルシンキングが身についたと思います。他学部・他学科の講義を受けることで、専門分野にとどまらず広く社会に目を向けられるようになりました。

